

センター長	学務部長	教務課長	副課長	係長	係員
(大石)				(印)	(印)

出張報告書

平成 22 年 6 月 30 日

高等教育開発センター長 様

(部局等) 佐賀大学 工学系研究科

(官 職) 教授

(氏 名) 滝 澤 登 (印)

このたび出張しましたので、下記のとおり復命します。

出張期間	平成22年 6月 24日(木)
出張先	TKP大手町カンファレンスセンター 東京都千代田区大手町
出張内容	CAUA FORUM 2010 「ICTと大学教育の新しい関係を考える」に参加
出張内容の概要	<p>「eポートフォリオの教育支援システムの現状と今後」についてCAUAが主催した上記フォーラムに参加し、LP導入の実情について情報収集した。</p> <p>基調講演の堀江知義教授(九工大副学長)による「学生自身の達成度評価による学修意識改革」は、特色GPに採択され取り組んだ学習成果自己評価シートをベースとする自己評価システムの構築とその成果について、取組の経緯から実践例までを含めた詳細な講演であり、本学において導入しようしているポートフォリオシステムと重複するところも多く、参考となる点が多かった。システム導入の成果を明確にすることには苦勞されているようであったが、このシステムのテスト版はすでに公開されており、システム自体も無償公開の予定であるとのことであった。</p> <p>「失敗しない効果的なeポートフォリオの活用法」と題した森本康彦准教授(学芸大)の講演は、ラーニング・ポートフォリオの歴史的背景や意義、その実際と効果などについて教育専門家としての見識に富んだものであった。この講演では本来のLPである科目ポートフォリオが取り上げられていたが、ポートフォリオが実効性も持つためのファシリテーションやジェネリックスキル教育の重要性が指摘されていた。</p> <p>最後の講演は浜正樹准教授(文京学院短大)による「電子ポートフォリオの導入と運用」で、クラウドシステムによるeポートフォリオ導入やセキュリティ確保などの運用に関する技術的な面に関する講演であった。</p> <p>講演後に講演者を中心としたパネルディスカッションが行われ活発な意見交換がなされた。フォーラム参加者は100名に近く、座席が足りないほどで、eポートフォリオの導入を検討している大学が多いことが実感された。</p>